

## 台本トラック4：声を殺して

---

(ノックの音。二回。)

(こもった声。ドアを隔てて遠め。下記一文)

「……開いていますよ」

(ドアノブを回す音)

(キィというドアの開く音。小さめ)

「いらっしゃい」

(ドアの閉まる音。小さめ)

(ヒールで歩く音)

「約束通り、ですね」

「え？ 外の札？ ……邪魔されたくありませんから」

「なに、用があれば電話をかけてきますよ。携帯宛にね」

「それにもう、勤務時間外でしょう？」

「……僕は資料整理という名の、貴女との逢瀬ですよ」

「ちゅっ……」

「今日は、こっちに」

「滅多に使いませんが、作業室にも、ベッドがあるんですよ？」

「昔は、夜勤もあったみたいですね」

「……そちらのベッドに、行きましょうか」

(靴の鳴る音。二人分)

(ドアノブを回す音)

(ドアの開く音)

(ドアの閉まる音)

(鍵をかける音)

(靴の鳴る音。二人分)

(ベッドに倒れこむ音)

(布の擦れる音)

「ここなら、誰も入れない」

「……今日もずっと、貴女のことばかり考えていました」

「早く会いたくて……」

「その身体に触れたくて……」

「ちゅっ……んん……ん……ふう……ん……」

「キスしたら、止まらなくなるくらいに」

「んっ……ちゅう……ちゅっ……」

(布の擦れる音)

「……貴女は、どうでした？」

「ふふっ……大丈夫です」

「言葉にしなくても」

「こちらに、直接聞きますから」

(服を脱がせる音)

「……もう、乳首が立ってる」

「……下はどうでしょう？」

(ピチャピチャと水分を含む音)

「……同じ気持ち、だったそうですね」

「まだ触れて、キスしただけなのに」

「こんなに濡れている」

「それに……」

「クリももう、ぷっくりとしていますよ？」

「僕に、触って欲しかったの？」

「……そう」

「じゃあ、沢山いじめてあげる」

「初めは、ゆっくり……」

「僕の指を感じて？」

「擦って、摘んで」

「指先で、トントん……って」

「……焦らされた方が、感じる？」

「中也濡れているけど……」

(水分の含む音)

「まずは、クリで気持ち良くなりましょうね」

「少し、強目が良いですか？」

「それとも、じっくり優しく？」

「じわじわ気持ち良くなっていくでしょう？」

「指の腹で、コリコリ、って……」

「……二本で擦りますね？」

「その方がきっと、今より気持ち良くなれる」

(ノック音。二回)

「……しっ！」

「声、出さないでください」

(ノック音。二回)

「……まだですよ……」

「まだ……」

(靴の鳴る音。遠ざかるように。音は小さめ)

「……行ったようですね」

「……いえ、恐らく救急ではないです」

「定時は過ぎていますし」

「外には電話をするよう書いておきましたし」

「用があれば……」

(↓携帯の鳴る音。ここから。)

「はあ……」

「誰ですか一体……」

「……くすっ……安心して？」

「指は、止めないから」

(↑携帯の鳴る音。ここまで。)

「——もしもし」

(↓グチュグチュ音。控えめに、不規則で。ここから。)

(↓布の擦れる音。控えめに、不規則で。ここから。)

「……はい、向坂です」

「はい、いない訳ではなく……」

「……いえ、すみません」

「本日中に、どうしてもまとめておきたい物があったので」

「集中して、気が付きませんでした」

「申し訳ありません」

「緊急でしたか？」

「……いま、ちょっと手が離せなくて」

「お話を伺うのは、難しいかな、と」

「……ああ。それでしたか」

「いえ、もうお渡ししましたよ」

「……はい」

「もう、帰られました？」

「明日、聞いてみてください」

「はい」

「ええ、それでは」

「失礼します」

(↑布の擦れる音。控えめに、不規則で。ここまで。)

(↑グチュグチュ音。控えめに、不規則で。ここまで。)

「……ふう……」

「……興奮しました？」

「電話の相手に聞こえてしまってはいけませんからね」

「声、よく我慢出来ました」

「ふふっ」

「こんなにトロトロになるなんて」

「ご褒美、あげないと」

「クリと中と、この状態で攻められたら、どうなりますか？」

「……きっと、すぐにイっちゃいますよね？」

「ぴちゃ……ちゅっ……ピチャピチャ……ふう……ん……ちゅ……」

「耳舐められるの、本当にお好きですね？」

「中が指に吸い付いてくるから」

「ちゅう……ぴちゃ……んんっ……ちゅ……っ」

「その声が聞きたくて、攻めてしまいます」

「ん……ちゅう……ピチャ……ピチャ……」

「はぁ……っ……」

「ちゅっ……ああ……もうすぐ、イきそうですね……？」

「……いいですよ。行ってください」

「ちゅ……ちゅう……ん……ちゅ……ぴちゃ……」

「ふふっ……イっちゃいましたね」

「ビクビクして……可愛い」

「愛していますよ」